

製品名: SRp75 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18281

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	SRSF4
別名	SRSF4; SFRS4; SRP75; Serine/arginine-rich splicing factor 4; Pre-mRNA-splicing factor SRP75; SRP001LB; Splicing factor; arginine/serine-rich 4
遺伝子 ID	6429.0
SwissProt ID	Q08170
免疫原	抗血清はヒト SFRS4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

背景

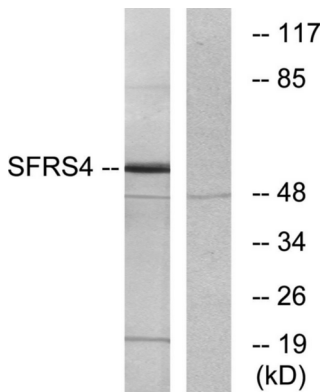
この遺伝子は、アルギニン/セリンリッチスプライシング因子ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパ

ク質は、mRNA プロセッシングにおいて機能すると考えられます。[RefSeq 提供、2009 年 2 月],機能: pre-mRNA スプライシングにおける選択的スプライス部位選択において重要な役割を果たすと考えられます。 ,PTM: RS ドメインのセリン残基が広範囲にリン酸化されています。 ,類似性: スプライシング因子 SR ファミリーに属します。 ,類似性: 2 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含みません。 ,サブユニット: SFRS4、SFRS5、SNRNP70、SNRPA1、SRRM1、SRRM2 とともに pre-mRNA スプライシング複合体を形成します。 PNN と相互作用します。 ,

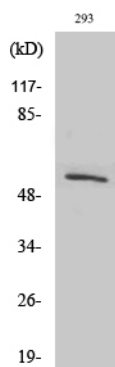
研究分野

スプライソソーム;

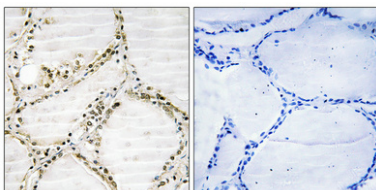
画像データ



SFRS4 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した SRp75 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト甲状腺の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を用いた。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。